

競技種目	講評
パソコン操作	今年度は新たな取り組みとして、プレゼンテーションソフトを利用した課題を1題追加した。表計算の問題と関連し、表計算の課題が解けないと、プレゼンテーションも一部答えがでなくしていたので、苦戦した参加者が多かった。 表計算の課題に関しては、新しい関数にどう対応するのか、大量のデータをどう処理するのかの2点に絞って課題を作成した。今回利用した関数は、Microsoft Excelの2019以降でしか利用できない関数であったが、参加者は良く学習していたと思われる。大量データの処理に関して、ピボットテーブルを利用した統計は、全員ほぼ解答できていたが、関数を利用した課題に関しては、処理出来ない参加者が多く、普段あまり使わない関数を利用する際どの様に解決していくのか考える機会になったのでは無いだろうか。 プレゼンテーションの課題に関しては、基本的な利用方法を押さえていれば作成できる内容であったが、表計算の課題の内容を読み取る必要があり、時間切れになってしまった参加者もいた。 全体的には、例年より処理レベルは若干簡単にはなったが、複数のソフトウェアを利用し時間内に作業を行うという点で例年とは違った難しさがあったのではないだろうか。 選手は非常に良く学習を行ってくれていたように感じた。
DTP	短い競技時間でしたが完成度が高い作品が提出されました。 文字の変換ミスが散見されました。提供データのコピー＆ペーストをすれば防げますので、クライアントからの提供データの活用を工夫しましょう。 今回、USBへのバックアップをお願いし、これは採点基準にはありませんが、できていなかった方もありました。また、提出フォルダにデータが入っていなかった方もありました。ファイルの保存先を守る事は重要ですので今後の研鑽を期待します。 金賞受賞理由 明確なコンセプトと共に訴求力が強い。ポスター全体を黄色にまとめた事で、反対色のブルーが入ったものが多い競技写真が映えている。 パソコン上では、大きさの感覚がつかみにくい傾向がありながら、ガイドラインの工夫などでうまくレイアウトした技能も優秀だった。画像の取り扱いの知識もしっかりしている。 銀賞受賞理由 多くの情報を読みやすく配置され、写真とキャラクターの選択も的確だった。アビリスが呼び掛けているような文章が工夫され、親近感がわく。 グラデーションと透過を使用し、アプリケーションの操作を熟知している。 銅賞受賞理由 近頃また流行しているインスタント写真風のレイアウト、文字の読みやすさ、QRコードへの誘導の工夫など、金賞に値するデザインだったが、今回、惜しくも銅賞となった。 優秀な作品が多く、点数の差がわずかだったため、仕様への理解が賞に影響した。
ホームページ	3名ともに共通してレイアウトに苦戦されているように感じました。 レイアウトの構成を見抜き、どのように組み立てると見やすく整えやすいか、作成することに慣れていくとスピードアップできると思います。 また、今回イラストレーターからテキストデータ、画像データ、カラーデータをうまく抜き出せた方がコーディングも一番よくできていました。 依頼者からのデザイン通りに作成したり、時間短縮を測ったりするために、イラストレーターのようなデザインツールについても学ぶと良いと思います。
製品パッキング	今回は定員15名に対し18名（1名欠席が出て17名）の参加でした。初参加は6名、2回目以上11名と複数回参加の方が増えています。初参加よりも今回は上手くできたと喜ばれる方もいました。1度で諦めず2度3度チャレンジしてもらえ魅力ある競技と想っていただけよう努力します。 今大会は製品の出来栄が順位に大きく反映した大会でした。スピードが早いということだけでなく、出来栄の減点を抑えた選手が上位という結果となりました。今回、数名の参加者は組み方、折り方の出来栄が良く減点がほぼ無い結果となりました。 スピードが早い大会ではない印象でした。皆様の考え方もかもしれませんが時間内に出来栄良く進める方針を持って参加された方もおられると思いました。第1課題、第2課題をどのように挑戦しようと考えて参加するのもいいと思います。丁寧さ、スピード重視または両方などの方針を持ち、皆様と一緒により切磋琢磨できる競技になればと願っております。

競技種目	講評
販売・物流アシスト	5年目となる大阪支部独自の本競技。今回は人数こそ5名（支援学校在籍者1名、企業在籍者4名）と少なかったですが、全員最後まで真剣に取り組まれていました。 課題1は15分。輪ゴムの計量と小物用袋への封入、フタの貼付け作業で、最大15袋分を作ります。課題2も15分。大会リーフレットと課題1で作った製品を、大きな透明袋に詰めて、販売促進用の配布物を作ります。 競技中には来客者（模擬）もあり、挨拶もします。また、この競技では、電子はかりの初期設定という少しややこしい作業があります。競技前に全員で練習をしますが、競技中に自分で設定できた方には加点をしています。 審査結果では、課題1で差が開きました。輪ゴムを入れた袋を折り返す位置について、事前に手順書をもとに説明していますが、残念ながら、その点ができていない方もいました。 また、課題2でも、リーフレットを入れた袋の折り返し位置がポイントになりました。 本競技について、当日配布されたパンフレットには、次のような紹介があります。 「この競技では、上司の説明をよく聞き、正しく理解して行動することや粘り強くあきらめない姿勢を維持する等、ビジネスで共通して求められるスキルの習得を求めています。」 審査委員長として、毎年度心がけていることに、分かり易い説明ということがあります。 競技される方が「正しく理解して行動する」ためにも、まずは、説明する側が問われます。 そのため、言葉だけでなく、見本を示す等していますが、今後も一層工夫をしていきたいと思っています。 来年度は、更に多くの方にチャレンジして頂ければと願っています。 選手の皆さん、お疲れさまでした。
喫茶サービス	選手の皆さん、大変お疲れさまでした。 当日は緊張もあったと思いますが、大きな声や丁寧なお辞儀で接客する選手が多く、日頃の訓練の成果を発揮された取組みだったと思います。また、柔和な表情で対応される選手も多く、お客様が笑顔になっておられる場面も見られ、好印象でした。 注文時のお客様への対応については、お客様が、「クレジットカードは使えますか？」「お店の定休日はいつですか？」等といった質問をされる中、皆さん、迷うことなくしっかりと対応ができていました。定型的な接客の動きだけでなく、お客様の要望に丁寧に答えることもとても大切なことです。 さて、喫茶サービス競技は、お客様への接客態度のみならず、全体を見渡して自らがどのように行動するべきかを考えて、選手間で協力して運営することも大切なポイントです。中には、接客に専念する余り、コップ等の片付けに気が回っていなかったり、自らの手が空いている時に率先して片付けに動いていない等、接客以外の場面で自発的に動く姿勢が弱かったように思います。また、来店しているお客様側を背にして、テーブルを拭いていることで、来店されたお客様に気が付かず対応が遅くなる場面もありました。これらは、今後の取組課題になると思います。 今回の競技では、全体を見渡してお客様の来店状況を目で捉えながら片付けをしたり、手が空いている選手に接客を依頼する等、スムーズな店舗運営を意識していた選手が上位入賞に繋がりました。 店内の動きを観察しながら、お客様をお待たせしないように、かつ、互いに声を掛け合い協力しながら気持ちの良いサービスを提供していくことができると良いですね。 選手の皆さん、今大会での経験を生かして、今後、より良いサービスの提供に向けて技能を高めていただければと思います。
表計算	表計算競技に参加された選手の皆様お疲れ様でした。 また、表彰された選手の皆様、受賞おめでとうございます。 表計算競技は今年度の試験についても「装飾・編集」、「データ処理」、「グラフ作成」、「関数式による表の完成」の4問題を出題しました。 90分という限られた競技時間の中ですが、どの課題も終了時間までしっかり取り組まれていたように感じました。 全体的に、どの課題もバランス良く解答されていた方が多かったように思います。 表計算ソフトは、他の業務ソフト同様に様々な職場で使われています。 これからもITスキルが求められるなかで、表計算ソフトは機能が多く、操作方法、特に関数は知っていると業務の効率化に繋がる事も多いです。 今年度の経験を活かして、来年も是非チャレンジしてください。 皆様のご参加お待ちしております。